

令和 2 年度「卓越した技能者(現代の名工)」に当社社員 2 名が選出

ヤマザキマザックグループ(本社:愛知県丹羽郡大口町)の社員 2 名が、令和 2 年度の「卓越した技能者(現代の名工)」に選出されました。

「現代の名工」は、きわめてすぐれた技能を有し産業の発展に寄与した者を、厚生労働大臣が表彰する制度です。

今回、現代の名工に選出された当社社員は以下の 2 名となります。

- ・原 稔 (はら みのる) ヤマザキマザック株式会社 所属
- ・高木 信男 (たかぎ のぶお) ヤマザキマザックマニュファクチャリング株式会社 所属

原社員は 1971 年に入社後、工作機械の主軸やテーブルの組立に 40 年以上にわたり従事してきました。主軸部品の高精度な仕上げ加工方法や、主軸組立の高効率化に寄与する作業方法を考案したことなどが評価され、今回の選出となりました。

高木社員は 1984 年に入社後、金属熱処理・材料試験業務に 30 年以上にわたり従事してきました。現在は、主軸の一貫生産をになう工場「サイバースピンドルファクトリー」において、主軸部品の熱処理業務を担当しています。金属の耐久性を高める技法の一つである「高濃度浸炭焼入」を用いた主軸部品の熱処理方法を確立し、工作機械の長寿命化・熱処理の高効率化に貢献したことなどが評価され、今回の選出となりました。

ヤマザキマザックグループに所属する現代の名工は、今回の選出で合計 10 名となりました。今後も当社は高度な技能を有する人材の育成に努め、高性能な工作機械の提供を通して世界のものづくりの発展に貢献していきます。